



2013年秋季号(通巻95号)

発行:公益財団法人 豊川市国際交流協会

編集:ニュースレター部会

〒442-0878 豊川市新道町1丁目1-3 勤労福祉会館内

☎0533-83-1571 FAX0533-83-1581

(年4回 5・8・11・2月発行)

■ホームページアドレス <http://www.yui.or.jp/tia/>

■メールアドレス tia@yui.or.jp

1993年2月20日

国際文化講演と映画の夕べ

とにかく、1990年6月の協会設立記念式典のアグネス・チャンさんの講演会以来の大入りでした。それもそのはず、講師はあの「さだまさし」さんだったのです。講演の演題は「風に立つライオン」。共催者の国際協力事業団の映画「舞台はアフリカ青春賛歌」との2本立てでした。会場は文化会館大ホール。事前の整理券の配布は20分で終わり。開演が午後6時20分だったにもかかわらず、午後4時から行列ができました。会場は満杯の1300人の入場者で埋まりました。

陶山幸七協会会長の挨拶の後、青年海外協力隊のPR映画「舞台はアフリカ青春賛歌」を鑑賞しました。その後、「さだまさし」さんの登場でした。ピンクのスーツに特徴あるメガネで心憎い演出。内容は「演奏旅行で世界各地を回った。しかし、日本の状況は大変恵まれているので、国としては世界に貢献するべきだ。一方、大勢の青年が海外青年協力隊員として海外で活躍しているが、見方を変えると、これらの人たちこそが、国内に留まって活躍してもらいたい。というのは日本の社会はあまりにも学歴社会で受験地獄の子どもがかわいそう。もっとのびのびと暮らせる社会になったらいいな」と。

以後、日本は失われた10年と言われる不況期に突入するわけですが、面白おかしく、そして真剣に語ったさださんの話が懐かしく思い出されます。

この当時は協会のPRと会員の意識向上を目的に盛んに講演会を開催しました。この講演会前後の開催日時と演題、講師名、会場名、受講者数を列挙してみます。講演会名はすべて「国際文化講演会」でした。

●1991年3月16日、「国際化時代と主婦」青山静子さん、勤労福祉会館視聴覚室、約100人

●同年6月30日「草の根国際交流」高橋ますみさん、勤労福祉会館大研修ホール、約200人

●同年11月2日「アフリカの村おこし」サンガ・ンゴイ・カザディさん、大研修ホール、約250人

●1992年5月30日「国際人となるための条件」アントン・ウイッキーさん、文化会館中ホール、約500人

●1993年6月5日「外国人の目から見た日本」ジョン・ギャスライトさん、大研修ホール、約300人などです。そうそうたるメンバーが来豊していました。



TIAアーカイブス

石川会長の 海外滞在記

「21年余りの海外生活を振り返って」 英国編

公益財団法人豊川市国際交流協会会長 石川則男

豊川市国際交流協会は多文化共生の町、豊川市を目指し日々活動を続けておりますが、これも豊川市のご支援と、そして大変多くの協会会員、ボランティアの皆様の多大なるご理解とご協力の上に成り立っています。改めまして感謝申し上げます。

1997年3月、勤務先が買収したロンドン東部郊外の会社に社長として赴任することになった私は、家族を米国に残したまま単身で英国に向かいました。14年弱の北米生活で英語には多少自信もあったのですが英国赴任後間もなくその自信は跡形もなく吹き飛びました。ロンドン部はEAST END地区と呼ばれています。赴任先の企業はそこに近く、コックニーと呼ばれる方言が強い地域でした。会社で働いていた英国人は地元の人ばかりでしたので、とにかく何を言っているのかわからない。コックニー訛りではTHとHは発音しません。THREEはFREEと発音し、HAVEはAVEと発音します。そりゃ分かるはずはありません。通常の英国英語でもDAYはダイと、Hはヘイチと発音します。このような違いがいたるところにあり、ますます分かりません。これ以外にもそもそも使う単語が異なります。ガソリンはPETROL、エレベーターはLIFT、地下鉄はTUBE、アパートはFLATと上げていけばキリがありません。

仕事では赴任先のセールスマネージャーと英国中を走り回りました。車中ではお互いに酒好きであったので、英国流の酒の飲み方を教わりました。まずはパブです。パブは労働者階級用の空間（パブリック・バー）と中流階級以上の客のための空間（サルーン・バー）は区切られていて、入り口が別のところも少なくありません。かと言って必ずどちらかしか入れてくれないわけではなく、

居心地の良い方で飲めばよいというのが現在の状況です。次にビールです。私たちが日本で飲んでいるビールはラガーと呼ばれますが、あまり冷えていないので今一つです。泡がクリームのように細かく、炭酸が弱い濃い味のビールをピターと呼びます。夏でも涼しいので冷えていないラガーを一気飲みするよりもピターをちびちび飲むのが英国流？と勝手に思っていました。

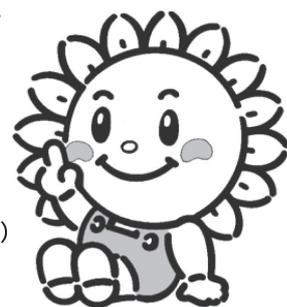
さて、8月になると家族も引っ越してきて、2人の娘の教育が我が家の重要な案件になりました。会社の近くに大変由緒ある女子高があるというので見に行ったらところ一目で気に入りました。NEW HALL SCHOOLという、この学校の校舎は英国王HENRY8世（1491-1547）の



古き良き英国感のあふれる学校
えんじ色とピンク色の制服を着た娘さん

別荘をそのまま使っており、カソリック系の学校でした。私が思った英国流の教育の特徴は、しつけが厳しいこと、悪いことは悪いと先生がはっきりと生徒に伝えることです。米国流は、とにかく生徒を褒める。褒めるところが無くても褒めるところを無理やり探すのが米国流です。上の娘の英語は米国英語でネイティブでしたが、英国の先生には「その英語は英国英語ではないのよ」と笑顔でピシッと言われました。うん？と娘も悩みましたが、それが英国流と何とか合わせる努力をしました。娘達にしてあげた中で良かったことの一つはしつけを重視する英国教育を続けたことです。ベルギーに移ってもインターナショナルではなくBRITISH SCHOOLに通わせました。英国に引っ越した1997年は日本の金融機関が崩壊していく足音が聞こえてきた年です。この年、会社がベルギーの企業を買収したこともあり、ユーロが導入される1999年には大陸側に進出しようと考えました。そして1999年8月にベルギーのWATERLOO（ナポレオンが敗戦した場所）に引っ越しました。以下ベルギー編に続きます。

ワイ!ワイ!ポイントカード Wai! Wai! Point Card 会員大募集!!



JAひまわりの事業利用でポイントを貯めて、値引きや商品交換に使おう!

入会のお手続きは、JAひまわり各店舗まで! (グリーンセンター・Aコープ・金融店舗など)

ひと・夢いいね。

 JAひまわり

お問
合せ先

本店 企画課 豊川市諏訪1-1

☎85・3171

JAひまわり

検索

第5回チェコの夕べ

チェコ部会 嶋 勝康



チェコの夕べ (音羽文化ホール)

アンコール曲「ふるさと」をズデンカさんが上手に日本語で歌った。今年は全席指定制としたが、お客さんの着席がやや遅れたような気がした。

中島さんは出演者の交渉から企画・演出まで受け持ち、東北地方の被災地までボランティア演奏の慰問を済ませてから豊川市を来訪してくれた。

私たちチェコ部会は、これからの若い世代に何がしてあげられるのか、

豊川市国際交流協会主催の「第5回チェコの夕べ」を7月26日にウィンディアホールで開催した。

昨年と同様チェコ部会会員のメンバーが活動の中心となり、ポスター、チラシ、プログラム作成、チケット販売に力を入れた。入場者は240人だった。

チェコ共和国からやって来た、多彩なレパートリーを持つ歌姫ズデンカ・メルヴォヴァーさんと、福島県出身のシンガーソングライター佐藤GWAN博さん、チェコ在住のピアノ奏者中島MASAKO佐知さんとのコラボレーションというユニークな顔合わせで会場を楽しませた。

今回の内容は、前半をチェコの著名な作曲家による日本では耳にする機会のない曲で構成し、クラシックなスタイルでズデンカさんが歌った。休憩を挟み後半はミュージカルなどでよく知られたメロディーを聞かせてくれ、観客を演技巧みに喜ばせた。

時間と共に客席の反応も高まり、舞台と溶け込んで手拍子も入った。また佐藤さんの語るチェコのお話が素晴らしい感動を呼んだ。

休憩時間にはロビーのパネル展示を大勢が興味深く目を通す姿も見られ、過去のコンサートを詳しく伝え、

展示会場



時を知るよいチャンスにもなったようだ。

タップダンス



まずはできることから努力し、行動してみせることが大切だと思う。人生に遣り残しの悔いを嘆かないよう頑張る精神を鍛えよう。

今すること、それは次のコンサートを企画し、豊川市民の皆さんが楽しめるような、実現可能な夢を抱きたいと願う。

総体的に皆さんの反響は大変良くチェコ部会には次への

意欲に大きな励みとなった。ロボットという言葉はチェコが発祥地であり、新しい分野でも未来志向を持つ国でもある。そこを私たちは学びたい。



交流会会場



株式会社 **ヒミカ**
 〒441-8019
 豊橋市花田町字荒木95番地
 Tel: (0532) 31-0012
 Fax: (0532) 31-0190
<http://www.himika.co.jp>

コンピュータのことなら、なんでもご相談下さい。

LAN・ネットワーク構築 ハウジング・ホスティングシステム管理 受託計算 システム設計開発



去る7月9日から16日まで山脇実市長を団長とした親善市民使節団22人がキュパティーノ市を訪問しました。また、新しい多くの出会いがありました。代表して福島よね子さんに訪問記を寄せていただきました。

一期一会

御油町 福島よね子

私は市民使節団員として姉妹都市キュパティーノ市を、市長を含む22人で訪問しました。

霧のサンフランシスコやブラックベリーファーム（バーベキューランチの会場）での現地の人たちとのダンスや歌も楽しく、サンノゼの日系米人博物館では、移民当時の暮らしや、第2次世界大戦時の日本人収容所の実情などが展示されていてとても興味深かったのですが、一番印象に残ったのは人々との交流でした。使節団としての訪問ということもあり、市の方や現地の姉妹都市委員会の人たちのサポートは親切で心のこもったものでした。

日本人は、西洋人に対してある種の劣等感を持っていると言われるかもしれませんが、今回の旅で一度もそれらを感じなかったのは、素敵な家族との出会いでした。私のステイした家族の話をしたと思います。



サンフランシスコのケーブルカー上の筆者の福島さん（左）

私は、キュパティーノ部会の方と2人で、スティープ・サルギットさんの家にホームステイさせていただきました。サルギット家は、5人家族です。現在住んでいるのは高校生のロバート君を含む4人でした。長男のスティープ君は時々帰ってくるようでした。私たちの為に、2つの部屋を用意して下さったのでロバート君はトレーラーで寝ることになっていました。そのおかげでゆ

っくりと寝ることが出来、心遣いがありがたかったです。この家族は、豊川市へ使節団員としてご夫婦と娘さんとロバート君たちが来ていましたので、話も弾み打ち解けることができました。ご主人のスティープさんはあまりしゃべりませんが穏やかな方で、やさしく温かな心で包んでくれる雰囲気をもった方でした。奥様は反対におしゃべりが大好きで、パワフルに動いて言葉はエキサイティングです。古いアメリカ映画「ステラ」のヒロインを思い出させてくれる方でした。話をすると、彼女の親としての子どもへの悩みは、日本と何ら変わらないものでした。ある夜のこと、私が粗相をして大きな音をたててしまいました。するとロバート君がどこからともなく駆け寄ってきて、私を心配してく

れたのです。彼は少し人見知りしていてあまり話をしてなかったので、その優しさを知りとても嬉しかったです。その後、キュパティーノ市でいただいたばかりのマグカップが袋の中で割れているのに気が付き、スティープさんに処分をお願いしました。ところが、次の日、私が外から帰るとベッドの上にそっと同じものが置いてあるではありませんか。私はびっくりしてお礼にいくと、ただ静かに笑っているだけです。何てステキな家族でしょうか。この話を友達に話したら「あなたが頑張っているから良い人に会えたのよ」と。



ホストファミリーのサルギット夫妻

5年後にもきっと使節団の訪問があることでしょう。ぜひ、出来ることなら皆さんも参加されて、一期一会を楽しまれる事をお勧めしたいと思います。

プラス・ワンからはじまる可能性。



行政書士小柳津えみ事務所
Administrative Documentation Attorney
Despachante Credenciada

入管手続・国籍関係手続

Immigration Procedures
Nationality Procedures

Procedimentos de Imigração
Procedimentos Relativos
à Nacionalidade

豊川市御油町栗木山152番地

TEL 0533-80-1801

FAX 0533-80-1802

E-mail emi@fb3.so-net.ne.jp

プラス・ワンからはじまる可能性。

共和印刷株式会社
本社 ● 〒441-8042 豊橋市小池町36番地の1
tel.0532-46-3281 fax.0532-46-3285

キュパティーノ市 35周年



キュパティーノ市とは1978年に姉妹都市提携をしてから、5年毎に使節団の相互訪問を実施し、その都度記念品の交換が行われました。市内に点在するそれらを紹介します。番号は年代の早い順です（㊦品名 ㊧置かれている場所 ㊨受け取った、または設置された年月）。



- ① ㊦センペルセコイア（樹木10本） ㊧地域文化広場内 ㊨1979年3月（提携記念）
- ② ㊦陶製レリーフ ㊧本庁舎1階授乳室 ㊨1979年7月（提携記念）
- ③ ㊦大時計 ㊧本庁舎ロビー（中央） ㊨1984年4月（5周年記念）
- ④ ㊦キュパティーノ市シンボルタワー ㊧キュパティーノ広場（体育館前の広場の名前）
㊨1988年7月（10周年記念）
- ⑤ ㊦絵画 ㊧文化会館ロビー（東側） ㊨1993年7月（15周年記念）
- ⑥ ㊦レッドウッド製ベンチ2基 ㊧ぎょぎょランド本館2階 ㊨1998年8月（20周年記念）
- ⑦ ㊦ヘルメット型モニュメント（キュパティーノ市のシンボル） ㊧キュパティーノ広場
㊨2003年11月（25周年記念）
- ⑧ ㊦絵画 ㊧本庁舎2階秘書課前廊下 ㊨2008年7月（30周年記念）
- ⑨ ㊦記念プレート・花崗岩ベンチ2基 ㊧キュパティーノ広場 ㊨2008年7月（30周年記念）
- ⑩ ㊦盾 ㊧市長室 ㊨2013年7月（35周年記念）

なお、提携にまつわる品々⑪は市役所ロビーにも展示されています。

北海道の海の幸、大地の恵みをお届けします

北海道

～宴会・法事・各種お集まり～ 個室50名様

〒442-0823 豊川市正岡町流田508
TEL 0533-80-7077 FAX 0533-80-7088

村松書店

〒442-0041 豊川市旭町62番地
TEL (0533) 86-3810
FAX (0533) 86-2682
E-mail add.
mbooks@amitaj.or.jp

こんな行事がありました

高校生トリード市派遣の報告会

9月7日(土) 英語部会



4人の高校生

今夏アメリカ・トリード市に派遣された、豊川市在住の高校生4人による英語での報告会が勤労福祉会館研修室で午後1時半から行われました。参加者は合計14人でした。

どの生徒も流暢な英語で、この派遣を通して得られた貴重な体験や出会い、また影響を受けたことや将来の夢などを語ってくれました。多国籍のクラスメンバーの中、世界の文化習慣、宗教の違いなどを知るだけでなく、自分の存在について再確認したこと、ホストファミリーに日本食を作って日本の文化紹介をしたこと、将来は英語を武器にした仕事をしたいなど、自分の考えをはっきりと、磨かれた英語で皆表現していて頼もしく感じました。

折り紙交流会

9月28日(土) 日本文化紹介部会

勤労福祉会館和室で午後2時からペクラの子どもを対象に、土曜の勉強会の空き時間に行いました。

部会のメンバー7人から折り紙を教してもらい楽しく交流しました。参加者は合計21人(子ども11人、ペクラ関係者3人)で、つる、かえる、兜、せみ、金魚など比較的簡単なものを作りました。つるの折り方は知っている子どもが多くいましたが、全く知らない子もいました。他のものは初めて作る子がほとんどでした。ポルトガル語の新聞で兜を作り、みんなでかぶって記念



たくさん折りました

写真を撮りました。

お月見交流会

9月15日(日) フレンドシップ部会

台風のため中止になりました。当日予定していた雅楽とジャズ演奏は12月のフェスティバルに出演します。

文化講座「タイ王国ってどんな国」

9月29日(日) 世界の歩き方部会



講師のアンさん

勤労福祉会館視聴覚室で午後2時から開催しました。参加者は合計91人(スタッフ含む)でした。今回はいつもより男性の参加が多かったように思います。

講師は稲荷口駅近くの「サワディ」というタイ料理レストランを運営している、タイ出身の熊谷パイラジットさんでした。タイの名前は長いので皆さん通称があり、彼女はアンさんと言います。

アンさんは、民族衣装を着てタイの文化や生活習慣などを話されました。タイの国旗は上から赤、白、紺、白、赤の横帯で表示し、赤は国民、白は仏教、紺は王室を表しているそうです。

アンさんには以前、世界の料理教室でお世話になり、ブレイクタイムの試食、バナナようかんとハーブティも用意してくれました。

なかなか見る機会のない、タイで人気のムエタイ(タイ式ボクシング)の出演もあり、直近で見せてもらいその迫りに圧倒され怖いくらいでした。



ムエタイのようす

大勢のアンさんのお仲間がすてきな民族衣装を着て駆けつけ、タイの踊りを披露した後、参加者を誘い一緒に踊りました。たいへん華やかな会になりました。

パティスリー
ラ・プティ・メゾン
PÂTISSERIE LA PETITE MAISON

depuis 2011

素朴な本場フランス菓子を取り揃えてお待ちしております。

TEL : 0533-65-8088
豊川市八幡町鐘鋳場180

- 営業時間/AM8:30~PM7:00
- 定休日/月曜日

日立製作所

インドカレーと焼きだてナンのお店
バンダナ
INDIAN RESTAURANT

http://www.sinbandana.com/
パーティー等のオードブルも承っております。お気軽にご相談下さい。
ご注文は TEL (0533) 83-3353 まで!!

営業時間 AM11:00~PM 3:00 (オーダーストップ PM2:30)
PM 5:00~PM10:00 (オーダーストップ PM9:30)

豊川市桜木通6-13 水曜定休(祝日の場合は営業)

海外ボランティア ブラジル体験記

萩町 池田 昌代

みなさん、はじめまして。今年9月、約2年ぶりに日本語教室部会に復帰しました。独立行政法人JICA(国際協力機構)から日系社会青年ボランティアとして、ブラジル・サンパウロ州タウバテ市在住の日系の方々が組織されている「タウバテ日伯文化協会」に“文化”という職種で配され、2011年7月から2年間活動してまいりました。

ボランティアとして派遣される前は、豊川市内の中部小学校で外国籍児童教育担当加配教員として、約2年半勤務しました。日系人の児童たちとの関わりの中で、ブラジルという国や彼らの文化背景に興味をもち、ボランティア参加を決意しました。



日系2世の先生、保護者の方と左から3人目が筆者の池田さん

派遣されたタウバテ市はサンパウロ州東部に位置し、リオ・デ・ジャネイロ州、ミナス・ジェライス州との州境に近い街です。人口は現在30万弱(2年前より増えました)、セントロ地区には公共市場や多くの商店があり、郊外にはショッピングセンター、山の方へ向かえば畑や田んぼ、牛や馬の放牧地が広がります。幹線道路を通れば車で2時間弱のところにはブラジルの経済都市サンパウロ。隣にはタウバテより少し大きな街サン・ジョゼ・ドス・カンポス市。タウバテにもサン・ジョゼにも大きな工場がいくつかあり、まるで、豊橋の隣・名古屋へのアクセスも良い豊川市のような街で、私にとっては大変住みやすい街でした。

ブラジルに着任してまず驚いたのは、『日系社会』の大きさです。サンパウロを中心にブラジルの各地に日系人が暮らし、コミュニティが形成されています。毎年7月に開催されるFestival do Japão(日本祭り)を始め多くのお祭りや催し物が開催され、そこで飛び交うのは日本語や日本語とポルトガル語の混ざった「コロニア語」です(※日本語がわからない日系の方も多くいらっしゃいます)。派遣前の事前研修で日本人移民のこと、ブラジル日



系社会のことは勉強してまいりましたが、目の当たりにしたその規模は想像以上でした。

ブラジル国内の日系社会は、地域によって大きく様子が異なります。私がいたタウバテ市では、戦後の工業移民、現在60~70代の1世の方々が比較的多いところでした。農業移民2世、3世の方たちも日本語を話されていましたので、活動はほぼ日本語、コロニア語でした。始めはわからなかったコロニア語…「そこのcenouraのcasca, tiraしたらcaféにしましょう。」なんていう会話も、半年も経つと慣れ、自分でも使うようになっていました。

活動は派遣先文化協会が運営する日本語学校での指導と、文化協会が開催するイベントのお手伝いなどでした。毎週土曜日の子どもたち対象のクラスでは、習字やそろばん、日本の手遊びや盆踊りなどの指導や日本語指導にも携わりました。文化協会の方では、イベント時に場所をいただいて習字、お箸、風呂敷、抹茶などのデモンストレーションやワークショップを行いました。集客や見せ方は常に試行錯誤でしたが、日系の方もそうでない方も興味をもってくださり、一時でも「日本」を共有し提供できたのではないかと思います。

実際に生活し活動してみて、ブラジルという大らかな地で日本人移民が誠実実直に築き上げられた成功と実績が、今ブラジルの生活や文化と融合し、日系社会が新たな局面を迎えていると感じました。そしてそこには、外国にルーツをもつ方々と共生するこの地域での暮らしに通ずるものがあると思います。今後はこの2年間の経験をこの地域に何らかの形で還元できたらと思っています。



お抹茶の体験コーナー

思い出に残る **旅** ご提案します

個人旅行 国内旅行
団体旅行 海外旅行

グループ旅行 団体旅行
御見積り無料!!

株式会社 **トウベル東海**

本社 営業所 TEL.0533-84-7115
豊鉄本野町バス停前 営業時間10時~18時(日・祝休み)

趣味の民芸・土産・造花フラワー店

(株) 林電工

恋のれん結び堂

造花フラワー師範 林 叔子

〒442-0027 豊川市桜木通5丁目1番地 ☎(0533)85-9977

INFORMATION

◆外国語講座受講者募集

◆使える中国語2（初級）

12月5日～3月27日 毎週木曜日 全15回
午後7時30分～9時 定員20人
講師 林明子さん

◆英語ボランティアガイド入門（中級）

12月10日～3月25日 毎週火曜日 全12回
午後1時30分～3時 定員20人
講師 マーゴ スゴラさん

◆英語で楽しいディスカッション（初中級）

12月10日～3月25日 毎週火曜日 全12回
午後7時30分～9時 定員25人
講師 ジョニー ロバートソンさん

◆やさしいスペイン語（入門）

1月8日～3月26日 毎週水曜日 全12回
午後7時30分～9時 定員20人
講師 平野エスペランザさん

場 所 勤労福祉会館

受講料 会員6,000円 一般10,000円

使える中国語2は会員7,500円、一般12,500円で、テキストは使える中国語1で使用しているものを使いますが、ない方は2,310円で購入していただきます。

申込み 11月20日(水)までに電話(83-1571)で事務局へ。定員を超えた場合は抽選です。

◆姉妹都市提携35周年記念パネル展

日 時 11月12日(火)～16日(土)
午前9時～午後8時（最終日は午後5時）

場 所 勤労福祉会館ロビー

内 容 提携翌年、キュパティーノ市から贈られたセコイアの木は20メートルに成長。両市の交流のあかしに見立て、個人から寄せられた35年間の交流写真を20メートルにつなげて展示する。

事務局職員の異動

職員のオマルさんが5月末日をもって退職し、後任に今泉さんが就任しました。あいさつ文をお願いしました。

新任 今泉佳世子さん



8月1日からスペイン語担当職員として仕事をしています。

高校生のときにテレビで見たフラメンコに衝撃を受けて以来、スペイン語圏の国や文化に夢中です。就任後、毎日いろいろな発見があります。スペインで使われているスペイン語と、ラテンアメリカで使われているスペイン語の違いに驚いたり、翻訳の難しさを痛感したりしています。

この2カ月で多くのラテンアメリカの方と知り合うことができました。支えるどころか助けてもらってばかりのように思います。語学力を磨き、多くの知識を身につけ、頼りにしてもらえる職員になりたいと思います。

◆ざっくばらんに話そう

日 時 11月24日(日) 午後2時～4時

場 所 勤労福祉会館第2会議室

内 容 子どもの進学や勉強などについて話し合う。

定 員 30人程度 **参加費** 無料

申込み 11月15日(金)までに電話で事務局へ。

◆ワールドフェスティバル2013

見る、魅せる、味わう、いつやるの、今でしょ！

日 時 12月8日(日) 午後0時40分～4時

場 所 勤労福祉会館大研修ホール

内 容 音楽、「世界の演芸大会」などで交流を図る。

参加費 高校生以上500円、小・中学生300円
未就学児無料 **定 員** 300人

申込み 電話で事務局へ。

◆第4回東三河日本語スピーチコンテスト

日 時 1月26日(日) 午後1時30分～4時30分

場 所 富岡ふるさと会館（新城市）

豊かなくらしのお手伝い



豊川信用金庫

本店 豊川市末広通3丁目34番地の1 ☎(0533) 89-1151(代)